

お知らせページ

みんなで「院内介助」を考える シンポジウム

日時：5月30日(日) 13:30～16:30
会場：大阪市住まい情報センター
参加費：1000円

世界のヘルパーさんと出会う旅 韓国の報告会

日時：5月23日(日) 17:30～
会場：南部労政会館 第1会議室
(JR「大崎」駅 南口下車 徒歩2分)
参加費：500円
連絡先：藤原 (FAX：3787-3117)

第3回 介護従事者のための公開講座 in 八戸大学

日時：6月27日(日) 10:30～17:30
会場：八戸大学・八戸短期大学総合実習館
(通称8号館) 体育館ほか
参加費：2000円(資料・お弁当・お茶代含む)
定員：講座により90名から250名
内容
第1研修：サービス提供責任者の役割と責務
第2研修：日本の介護現場で起きている介護事件の深層
第3研修：介護保険制度の未来は、どうなる!?
第4研修：知らなきゃいけない!! 介護保険制度の新たな課題
第5研修：八戸せんべい汁体操指導者養成講座
第6研修：介護現場で使えて楽しい、実践マジック講座
第7研修：実践的認知症ケアを考える
第8研修：社会福祉法人の品格を問う!
連絡先：0178-30-2661(電話、ファックス兼用)

介護の質と評価システムの学習会

日時：6月4日(金) 19:00～
会場：東京文化会館4階 小会議室
テーマ：「認知症とマスコミ報道」
参加費：無料
連絡先：鈴木 (TEL：3870-2054)

第23回認知症ワーキング

日時：6月13日(日) 10:00～
会場：東京ボランティアセンター
(JR「飯田橋」駅下車 徒歩2分)
参加費：資料代として当日のコピー代
内容
ディサービスへの送り出しでの対応事例、他
連絡先：藤原 (FAX：3787-3117)

第6回岐阜県介護セミナー [コミュニケーションとケア労働] ～私たちがいきいきと 働き続けられるために～

日時：6月27日(日) 13:30～16:00
会場：ケアハウスさしゆり地域交流ホール
(岐阜市北山)
参加費：500円
問い合わせ
電話・FAX：058-241-2040
E-mail：gifuminirou@yacht.ocn.ne.jp

共に介護を学びあい 励まし合いネットワーク

〒142-0063
東京都品川区荏原1-24-23 角田アパート1F
Tel・Fax：03-3787-3117
編集責任者：藤原るか

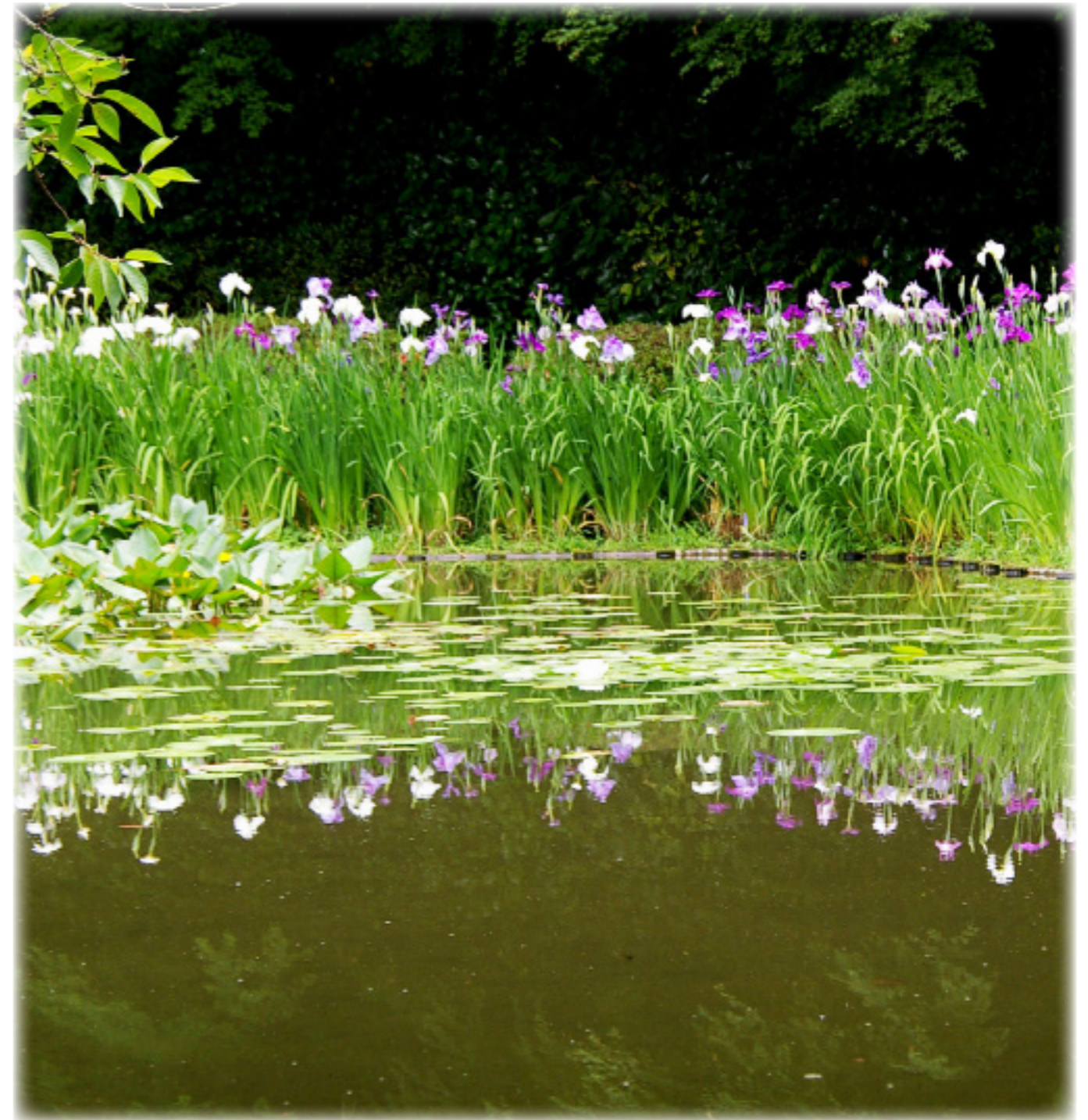
CLA だより

第13号
10/5/18

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



「CLA (クラ)」はラテン語で憂い、辛さ、気遣い、共感などと云った意味で、英語のキューアやケアの語源です。



京都平安神宮「花菖蒲」(撮影・北出千万城)

世界のヘルパーさんと出会う旅 パート「韓国」

2010年3月25日(木)～29日(月)



2年目を迎える「韓国」の介護保険（長期療養保険）の現状と現地ヘルパーさんたちとの交流を目的に3/25（木）～29（月）4泊5日のツアーに出かけてきました。今回は当日の様子を簡単にお伝えします。（詳しくは5/23（日）17:30～から南部労政会館で報告会を行います。別途「お知らせページ」参照）

3/25（木）仁川空港から直接ソウル市の一番新しい施設に向きました。施設長の李聖姫さん（写真中央）は、韓国の認知症家族の会代表もされている方です。韓国の介護保険施設の現状お話をいただきました。

介護保険導入前は本人負担50%税金50%と負担が重かったが、利用料は20%になったので入所しやすくなったとのこと。力を入れている認知症ケアについては、日本の宮崎信恵監督のDVDが丁度でき上がっていたので、「絆—認知症と向き合う」を大型のスクリーンで鑑賞させて頂

きました。

その後、施設見学。私財も投じているということでしたが、施設内は古くからの家具を廊下や部屋に設置。施設の雰囲気と和らげて在宅に近い環境を作ろうとされて



「おげんきですか」3月号より転載

ヘルパーさんについて 重松 恒雄

我が家は、多くのヘルパーさんに支えられて生活しています。ほんとうに感謝しています。

ヘルパーさんを利用してから早いもので7年……障害もだんだん重度になり、ヘルパーさんの利用する回数も増えてくるようになりました。

この間、いろいろな出来事がありました。それは、ヘルパーさんの活動です。短い時間内で一生懸命やってくれる人、最低限のことをやって、後は時間が来るまでのらりくらしやっている人、その差は、とても大きいのです。

でも、給料はみんな一緒にもらっているのです。おかしいと思いませんか？一生懸命やっている人はバカみたいですね。在宅のヘルパーさんは、一生懸命やってもきりがなし、手を抜こうと思えばいくらだって手を抜くことができるのです。

そこには、上司もいない、同僚も活動ぶりを見ていません。だから、自分の思うように、自由にできるのだと思います。

活動ぶりを知っているのは、利用者だけなのです。利用者は、活動ぶりをしっかり見えています。

「もっと、しっかりやれよ。仕事に来ているんだぞ！俺も金を払っているんだよ」と、喉まで出掛かっているもなかなか言えないのです。

それは、「お世話になっているから……」

福祉と言うのは、「心」だと思います。いくら、技術が豊富でも「心」がなくては福祉の仕事は、成り立っていかないのです。心を込めて、接してやれば、きっと利用者から良い反応が返って来ると思います。

「ありがとう」「また来てね、待っているよ」

私たちは、ヘルパーさんなしでは、生きていけないのです。ヘルパーさんは、私たちは生きていく上での「命の綱」なのです。だからこそ、プロのヘルパーとしてがんばってほしいのです。

みんなで

「院内介助」を考えるシンポジウム

通院・外出介助は、ヘルパーさんの大切な役割ですが、厚生労働省は「院内は医療機関のスタッフが対応すべき」としたため、自治体によっては病院の中はヘルパーのつきそいや介助は一切認めないところがあります。さらに、介護事業所は介護保険の対象にならないので、ヘルパー事業所は利用者に「自費負担」を求める場合もあります。

しかし、利用者にとって自費は大変重い負担であり低所得者からサービスを遠ざけます。さらに、「年金から一方的に天引きされているのになぜ介護保険で使えないのか」という声も。

一方、厚生労働省がいうように医療機関は介助ができる状況にあるのでしょうか。高齢者の医療を受ける権利や外出する権利を守るために、この「院内介助」を考え、改善させるためのシンポジウムを企画しました。

あなたもご一緒に考えませんか？ ぜひご参加ください。



●日時 5月30日(日) 1時半～4時半

●会場 大阪市住まい情報センター
(地下鉄天神橋筋4丁目駅上)

●シンポジスト
マスコミ関係者・医療関係者
利用者・ケアマネジャー・ヘルパー

●参加費・資料代 1,000円

●規模 200人
(先着順 お断りする場合のみご連絡しますの
で、必ずFAX番号記載を)

※参加申込は下記申込用紙ご記入の上、FAXで。

大阪社保協・よりよい介護をめざすケアマネジャーの会

大阪市北区錦町 2-2 国労会館

TEL: 06-6354-8662 FAX: 06-6357-0846

氏名

事業所名

職種 ケアマネジャー・ヘルパー・その他()

連絡先FAX番号

いました。

認知症状を深く理解して対応されている作りと、プログラムの説明に一同敬服。必要外な部屋等考えられない日本との違いを感じました。「勤めている施設の屋上に庭園を作りたい」との感想もすぐに出されました。



3/26(金) 午前中はヘルプエイジ코리아 (HelpAge Korea) 趙基東名誉会長と(写真中央)の懇談。韓国での家庭奉仕制度の成立過程・歴史・現在のお話を伺い家庭奉仕員さんと食事を取りながら交流をしました。

家庭奉仕員として20年近く活動されてきたからのお話は楽しく、食事を取りながらの交流だったため、多くを聞くことができずでしたが、歌の楽譜を用意していただいたりしていたので、もう少し時間が取れたらと思いました。

夕方は韓国のヘルパーさんに関係する労組の方々と交流しました。処遇改善に関することや「べからず」などケアに関することなど具体的な交流で予定時間もオーバーする程で、「日本での交流を実現したい」とチョさんから熱いメッセージを頂きました。『私は療養保護士だ』という映画も作っているとのこと。日本にプレゼントしてくれるとのこと。



3/27(土) は終日フリー行動で、3つのグループに分かれて行動しました。

Aグループは「民族村ツアー」と世界遺産の水原城の見学後、南大門市場、Bグループは仁寺洞周辺と世界遺産の景福宮、明洞大聖堂等の見学、Cグループはソウルから2時間離れたにある「独立記念館」の見学。

2時間乗っている地下鉄が190円、バスは40円と交通費の安さに驚きました。ちなみに、実際に4泊5日で使った交通費総額は2500円でした。

3/28(日) この日は一日ツアーの調整をしていただいた、KTCS療養保護士教育院(ヘルパー養成の学校)見学と教育内容・動向のレクチャーをシムさんより受けました。

1年間で40万人のヘルパーを養成した韓国。「家族介護者」に対しても資格を求め、事業所への登録も義務づけた上で「賃金」を支払う方法は、孤立しがちな介護者が「登録」という繋がりで防ぐことができるという内容。

日本では女性を家に縛りつける事になるという女性団体の強い意見で実施が見送られた「家族手当」等を改めて考えるヒントを与えてくれました。

午後はKTCS訪問介護麻浦センターの訪問療養に関するレクチャーと療養保護士の方々との交流。1ヶ月連日4時間まで訪問できるとのこと。ゆっくり話しながら仕事に取り組んでいる様子を伺い、日本の短時間訪問現状等を交流しました。この事業所では、ソウル市の最低基準賃金410円のところ、770円支払っているとのこと。この額にも驚きました。

3/29(月) (仁川) 午前の便で成田へ、日本の介護保険10年を振り返る良い機会と韓国文化に触れて、楽しい5日間があったという間でした。



世界のヘルパーさんと出会う旅パート 10

イギリス・オランダのヘルパーさんと出会う旅

○日程：2010年7月7日（水）～ 15日（木）

昨年、イギリス・リーズ市の職員とリーズ大学の方が「在宅ケア研究会」イン名古屋にいらっしゃり交流をしました。

そのときの話題で①生活全体を見てホームヘルプ活動をしているグループがあること、②2日間にわたりストライキを実施したグループがあることがわかり、イギリスでの交流を計画していたところ、静岡大学の三富先生より「第5回国際家族ケア学会」がリーズ大学で開催されるとの紹介を受けました。

せっかくイギリスまで出かけるなら、国際会議にも参加できるよう急遽、計画を立てています。取り急ぎ計画をお知らせします。

毎度のことですが、格安の理由は、ユースホステル・ドミトリー（相部屋）の利用と格安航空券使用で乗り継ぎをすることで格安に企画しています。

7月7日（水）	成田発 ～ 北京乗り継ぎ ～ ロンドン（YH泊）
7月8日（木）	午前中はロンドン市内 午後ヨークへ移動（YH泊）
7月9日（金）	国際家族ケア学会参加 現地ヘルパーさんと交流
7月10日（土）	同上
7月11日（日）	ハル ～ アムステルダム 船便（予定）移動
7月12日（月）	オランダ市内見学とヘルパーさんとの交流
7月13日（火）	同上
7月14日（木）	移動 フーク・ファン・ホラント船便（予定）ロンドンへ 20:25 北京乗り継ぎ
7月15日（木）	21:00 成田着

* 8日発～12日帰国 国際家族ケア学会参加のみのグループもあり。

参加費：約20万円（交通費、宿泊費、通訳費、会議エントリー代）

（食費・保険は自己負担、宿はユースホステル）

申し込み・問い合わせ：事務局 藤原宛にファックスまたはメールで

FAX：03-3787-3117 メール：ruka@ga2.so-net.ne.jp

じゅんじゅんコンサートから ホームヘルパーは文化の発信者！



気候不順だった今年の春。でも4月25日、東京中野に、さわやかな歌声が響きました。

大成功だったじゅんじゅんコンサートの一部を紹介します。

当日は、初めにお二人の飛び入り参加のギター演奏から始まって、ノ・カヨさん・阿部純さん・渡辺潤さんの歌が披露されました。

会場一体となった素晴らしい時でした。

現役ホームヘルパーの阿部さん。オリジナルの「ひとりじゃないから」「赤色のセーター」はもとより、東北弁で夫婦の細やかな愛情を表現した歌など、現場にいるからこそ人の心に響きます。語りも歌唱力もとても上手！会場の人全ての心をとらえたすばらしい歌声でした！

「ほめて、ほめて、ほめて……」自分をほめて……。自らも介護の仕事の経験者、プロ歌手のノ・カヨさん。



私たちが元気づけるノリの良い歌に会場もわきたちました！



手作りの軽食。この後もいろいろ出てきました。ワイン、ビール、焼酎……飲み物もいっぱい！アンコールに応えて年末に再度企画したいというヘルパーの表明あり。お楽しみに！



次の機会に是非皆様のご来場をお待ちしますね！

（文責：櫻井 和代）

この記事は「櫻井和代のホームヘルパーの広場」から転載しました。

ホームページ URL

<http://members2.jcom.home.ne.jp/sakuraikazu/>